

Spamtitan Gateway V8.00では、基礎となるオペレーティング システムがFreeBSD13.1にアップグレードされ、いくつかのバグ修正とセキュリティアップグレードが行われました。

この新しいバージョンでは、進化する脅威に対する強力な防御機能が改善され、重要なデータと通信チャネルを最大限に保護します。

既存の SpamTitan Gateway 顧客様の場合、Spamtitan Gateway V8.00 ISOが使用できます。次のURLからダウンロードして下さい。 <https://docs.titanhq.com/en/8863-downloading-and-installing-spamtitan-gateway.html>

**SpamTitan Gateway V7.13 から V8.00 への直接アップグレードはできません。 Spamtitan Gateway V8.00を新規にインストール後、V7.13のバックアップを作成してエクスポートし、それを新しいSpamTitan Gateway V8.00にインポートすることができます。**

SpamTitan Gateway の 7.13 よりも前のバージョンを実行している場合は、まずSpamTitanのバージョンを 7.13 までアップグレードする必要があります。

### V8.00へのアップグレード手順まとめ

- 1, 現在稼働しているSpamtitan GatewayのバージョンがV7.13より前のバージョンの場合、バージョンをV7.13までアップグレードしてください。
- 2, V7.13で稼働中の場合、バックアップを実施します。
- 3, Spamtitan Gateway V8.00を新規にインストールします。
- 4, 新規に作成したSpamtitan Gateway V8.00に 2,で作成したV7.13のバックアップファイルをリストアして下さい。

### ご注意:

V8.00をインストールする途中でSpamtitanのホスト名(FQDN)を入力する画面があり、V7.13で設定していたホスト名と同一にしなければなりません。

V7.13のホスト名の確認は、管理画面へログイン後、システム設定>メールリレー>ホスト名を参照ください。

アップデート バージョン	バージョン 8.00 (ISOイメージ 1.2GB)
配布日(日本国内配布日)	2023年 5月
アップデート方法	ISOイメージ & オンラインによるアップデート
アップデートに必要な条件	1 Ver 7.13へアップデートが完了していること。
	2 インターネットへ接続していること。
	3 アップデートのリトリブ(ダウンロード)が完了していること。
	4 主記憶が8GB以上 確保されている事。(V7以降)
	5 受信キュー・アクティブキューにメールが滞留していないこと。
	6 MTAからのメールリレーを止めている事。
	7 できる限り、最新バージョンのブラウザをご使用下さい。
アップデートに必要な時間	約 2時間程度(サーバ性能による)

サービス停止	あり
サービス停止時間	1.5~2時間+再起動時間
メッセージのロスト	なし
作業中のメール受信	一時的に不可

システム自動再起動	あり(各サービスの再起動あり)
システム再起動時間	約 10分(ストレージの規模による)
ユーザーによる再起動	不必要
システム設定の継承	あり

## 注意点

1	このアップデートを適用すると、これまで保存してきたバックアップファイルが使用できなくなります。バックアップファイルが同一バージョンでのみ適用可能である事は、本製品の仕様となります。
2	メールの処理が停止する為、メールリレーは極力止めるようにしてください。
3	アップデート作業中は、外部の送信者がメールを送信すると、送信者のSMTPサーバが送るべきメールを再送信キューへ一時保管し、特定時間毎に5日程度まで再送信を試みるため、そのメールはアップデート作業完了後に受信する事ができません。
4	クラスタシステムの場合は、全てのノードを同一バージョンへアップデートする必要があります。
5	アップデート作業中は、絶対にシステムの再起動を行わないでください。 ベースOSのアップデートが含まれる為、必ず故障し、またリモートサポートでも修復不可能となります。

## 改良

1	この新しいバージョンでは、進化する脅威に対する強力な防御機能が改善され、重要なデータと通信チャネルを最大限に保護します。
2	FreeBSD 13.0 への移行による SpamTitan の内部機能が強化されました。

## バグ修正

1	ジオブロックされている上位の国の列が、コンテキストに関係なく、関連するビューに表示されるようになりました。
2	SpamTitan レポートで生成された時間が不正確でない問題の修正。
3	マルチバイト文字セットを含んだ文字があっても、隔離ページと履歴ページが正しくロードされるようになりました。
4	[リンク ロック サービス] タブの配色が変わりました(ブルーからオレンジ)。
5	SpamTitan API に関連して多くの項目が修正されました。
	ドキュメントに準拠したドメイン管理用 API の動作。
	ドメインは API を通じて正しく管理および複製されます。
	API による許可/ブロック ルールの変更によりパラメータがリセットされなくなりました。
	History API 応答には送信メールが含まれなくなりました。
	ユーザーの API が 500 エラーを返すという特殊なケースが解決されました。
	API を介したブロック リストの挿入と削除に関する問題が解決されました。



ジュピターテクノロジー株式会社 お問い合わせページ  
<https://www.jtc-i.co.jp/contact/>